

つどい

東日本大震災犠牲者の追悼

岩手偕行会 副会長

坂本 兼広

東日本大震災から今年で6年を迎えた。岩手偕行会員と友人11名は、震災の前日にあたる平成29年3月10日に被災地宮古市に向き同市の藤原埠頭において犠牲者の追悼を行った。

当日の行動は、盛岡市を朝6時頃に出発し、現在工事中（一部開通）の国道106号線宮古盛岡横断道路（通称復興支援道路）経由で、復興が着々と進んでいる状況を車窓から確認した。

宮古市到着後、宮古カントリークラブにてゴルフを楽しみ、親睦を深めた。

プレー終了後、岩手地方協力本部募集事務所の佐藤さんに案内して頂き、藤原埠頭の巨大な防潮堤の中に入り、海に向かい献花と黙祷で犠牲者のご冥福をお祈りした。

震災後初めて被災地を訪れた参加者もあり、震災の甚大さに改めて驚き、復興の状況に感動していた。今後も機会を作り、被災地を訪れようと参加者全員で誓い、帰路についた。

